

# 塩江協力隊通信

## ○ガソリンカー設計図を発見

ガソリンカーの愛称で親しまれた「塩江温泉鉄道」を復元する企画で大きな進展がありました。運営会社を合併した琴電、製造元の川崎重工にも設計図は現存していないとされていたガソリンカーですが、埼玉県鉄道博物館に所蔵があるという情報があり、香川高専の学生が調査にいった結果、外観から部品まで100枚に及び詳細な設計図が見つかりました。不鮮明な部分もあるため、現在、高専生がこれらを元に図面を引き直してくれています。年度内には引き直した図面をお披露目できる予定です。

## 「ガソリンカー 復元実行委員会」は、

ガソリンカーの資料の収集、模型復元、美術館でのアート化などを目標に、地域おこし協力隊／塩江美術館／塩江歴史資料館主催、香川高専／香川大学創造工学部などの協力で行なっております。塩江町中では毎月一回「コミュニティセンター」にて会議を行なっております。次回会議は10月30日の18時からを予定しております。となたでも参加できます。



## ○上西に現代サーカス拠点施設

上西小学校と空き家をあわせてできる現代サーカス滞在制作施設「Shiono-AR」(シオノエアー)計画が本格的にスタートしました。この計画は、一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリーと共同で、上西小学校体育館を中心にサーカスの滞在制作を定期的に行う施設を作るといふものです。先日、上西地区連合自治会長の藤澤久文氏と一緒に高松市長を表敬訪問し、計画の内容を伝え、激励をいただきました。

現在、Shiono-AR計画はクラウドファンディング(インターネット)を利用したお金集め)を行なっております。塩江町の皆様にもぜひ知っていただきたいので、ぜひ、裏面のアドレスを検索していただければ嬉しく思います。

発行：塩江町地域おこし協力隊 村山 淳

メール：jun.tachikawa@heliolea.com

Facebook：「塩江温泉地域おこし協力隊」